

新規事業採択時評価結果（平成18年度新規事業化箇所）

担当課：四国地方整備局地域道路課
担当課長名：大住 道生

事業の概要

事業名	一般県道高知南インター線（五台山工区）	事業区分	地方道（一般県道）	事業主体	高知県
起終点	自：高知県高知市高須新町 至：高知県高知市五台山	延長	2.0 km		
事業概要	<p>一般県道高知南インター線は、高知市高須新町の国道32号を起点とし、高知市五台山の高知南IC（仮称）及び高知新港臨港道路に至る延長2.0kmのバイパス道路で、高知市街地から高知東部自動車道を経由して高知龍馬空港、また、臨港道路を経由して高知医療センターや高知新港を結ぶ重要な地域連携道路である。本区間において慢性的な渋滞対策等を目的として4車線化整備を行うものである。</p>				
事業の目的、必要性	<p>当該路線は高知都市圏の環状道路の東側の一部を構成する重要な幹線道路であるが、当該区間のみが唯一2車線となっている。慢性的な渋滞が発生しており、直轄事業中の高知東部自動車道が高知空港IC（仮称）まで供用（平成23年度予定）することによりさらに交通量が増加しさらなる渋滞が予想され対策が緊急の課題となっている。本路線は、高知IC・高知新港・高知龍馬空港を相互にネットワークする路線でもあり整備が必要である。併せてこの道路の整備により高次医療施設（高知医療センター）のカバー圏域の拡大が見込まれる。</p>				
全体事業費	7.3億円	計画交通量	14,200台/日（H42）		
事業概要図					

関係する地方公共団体等の意見

平成23年度に、高知東部自動車道の高知南ICから高知空港ICまで暫定供用を予定しており、一般県道高知南インター線道路改築は、これと併せて整備することにより、市内中心部と空港、港湾、医療施設等を結ぶ地域連携の重要な役割を果たす道路となる。高知県東部地域と高知市中心部の連携強化及び交通の円滑化による地域の活性化を促す本事業に対して高知県の期待は非常に大きい。

事業採択の前提条件

便益が費用を上回っている：B/C 1.5
円滑な事業執行の環境が整っている：都市計画決定済（平成2年）。用地買収完了。期工事（暫定2車線）完了後（平成14年7月）も継続的な説明会を開催し、地元も協力的である。

事業評価結果

費用対便益	B/C	1.5	総費用：6.3億円 （事業費：6.2億円 維持管理費：1億円）	総便益：9.4億円 （走行時間短縮便益：9.1億円 走行費用減少便益：1億円 交通事故減少便益：2億円）	基準年 平成17年	
	感度分析の結果	交通量変動	B/C= 1.6（交通量 +10%）	B/C= 1.3（交通量 10%）		
		事業費変動	B/C= 1.3（事業費 +10%）	B/C= 1.6（事業費 10%）		
		事業期間変動	B/C= 1.5（事業期間 +20%）	B/C= 1.5（事業期間 20%）		
事業の影響	評価項目	評価	根拠			
	自動車や歩行者への影響	渋滞対策		渋滞区間を解消する。 渋滞損失時間の改善（84.62千人・時間/年 18.75千人・時間/年） 当路線が整備されずに高知南IC（仮称）～高知空港IC（仮称）が供用された場合、現況と比べ大きく渋滞損失時間が悪化する。（84.62千人・時間/年 490.56千人・時間/年：県内直轄7-27位相当）		
		事故対策		事故の減少が見込まれる。 【死傷者事故率】約7.8件/億台和（現況）、【死傷事故比率（県内比）】1.07（現況）		
		歩行空間	-			
	社会全体への影響	住民生活		・空港の利便性向上（高知龍馬空港から高知市街地への格段のアクセス向上：高知龍馬空港～高知駅33分 20分） ・高次医療施設への利便性向上（高知市街地から当路線を経由して平成17年3月に開院した3次医療施設である高知医療センターへの利便性が向上し、緊急搬送エリアが拡大する）		
		地域経済		・地場産品の流通の利便性向上（高知自動車道、空港、重要港湾を結び物流の流れを形成する重要な地域連携道路となる。） ・関連する大規模道路事業との一体整備（高知東部自動車道：平成23年度暫定供用予定）		
		災害		・高知県第1次緊急輸送道路ネットワークに位置付けられ、高知市街地から高知自動車道、空港、重要港湾、医療センターを繋ぐ重要な路線となる。 ・発生の逼迫性が指摘されている南海地震の緊急避難道路。		
環境		-				
	地域社会		・拠点都市間の連絡（高知東部自動車道を利用し、高知市中心街へのアクセス向上：高知龍馬空港～高知駅33分 20分、安芸市～高知市内73分 57分）			
事業実施環境			・高知東部自動車道と一体となった四国の大きな8の字の構築 ・都市計画決定済（平成2年）、用地買収完了			

採択の理由

費用便益比が1.5と、便益が費用を上回っているとともに、都市計画決定手続及び用地買収が完了していることから、確実な執行が見込まれる。
 また、平成23年度に直轄事業の高知東部自動車道が高知龍馬空港まで供用するのに併せて当該路線も供用する予定。このため、当該路線は当面の間四国の大きな8の字を構成する重要な道路であり、事業の必要性・効果は非常に高いと判断できる。
 以上より、本事業を採択した。

総費用、総便益とその内訳は、各年次の価値を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したものである。